

よこすか YPTA

編集兼発行人 横須賀市PTA協議会

100
周年



おかげさまで児童達の思い出に残るとても良い式典と音楽会を無事終えることができました。

当日は式典会場内に響き渡る校歌に皆胸を熱くし、本校の100年の歴史の重さと同じ時間に同じ場所で児童・先生・保護者・地域の皆様と共に実感することができました。

子ども達の数十年後の思い出の日にしつれましたこと。五年間の準備期間を経て当日まで多大なるご尽力をいただきました全ての関係者の皆様に感謝をいたします。誠にありがとうございました。

心から鶴久保100周年おめでとう！
そしてガンバレ鶴久保いつまでも！



PTA会長 磯崎 康二

去る11月16日(日)横須賀芸術劇場にて、「鶴久保小学校100周年記念式典・音楽会」が行われました。

来賓としてお招きした、国・県・市の議会関係、地域関係、歴代校長・職員の方々、児童、先生方、保護者や卒業生など、約1200名がひとつになって、この記念すべき日をお祝いしました。



来賓の方々に暖かく力強いお祝いの言葉をいただき、出光教育委員会委員長、秋吉玲子校長、磯崎PTA会長があいさつをしました。続いて、児童の言葉としてパフォーマンスがありました。1・2年生はともだち贊歌のメロディーにのせて「つるくぼ贊歌」を、手をつないで元気いっぱいいました。3・4年生は「鶴久保の歴史」を群読しました。言葉がホール中に響き渡つて感動を誘いました。5・6年生は、旗の演舞に合わせて、「エール鶴久保」。タイミングよく応えあう壇上・会場の児童と、鮮やかに舞う旗が見事でした。

鶴久保小学校PTA

後半は、記念音楽会として、本校に在籍していたこともある世界的ヴァイオリニスト徳永二男氏ほか、4名の演奏家をお招きました。音響効果のよいホールで、本物のクラシック音楽を鑑賞するという素晴らしい経験は、子どもたちの心に残るものになったと思います。

式典・音楽会は厳粛な中にも暖かな会でした。5年の準備期間には、陽光小との統合を含めいろいろなことがありました。おかげさまでこの

日を無事迎えることができ、学校が多くの方々に支えられていることを改めて実感した一日になりました。



鶴久保小学校創立100周年おめでとうございます。前会長として、100周年の準備に追われていた日々を懐かしく思い出します。式典、音楽会ともに喝采の中、無事に終わった時の、あのホッとした気持ちは一生忘れないでしょう。

100周年の準備を一生懸命してきたPTAの仲間たちに、この紙面を借りて、改めて御礼申し上げます。

周年行事はただ偶然に出会うものです。もちろんそれなりの苦労も伴うわけですが、子どもたちの喜んだ顔を見ると、良い年に巡り会ったと感謝したくなります。今後も、各学校でさまざまな周年行事があること思います。子どもたちにたくさんの楽しい思い出を作っていただきたいと念じております。



横須賀市PTA協議会会長
(前鶴久保小学校PTA会長)
佐野 泰史

衣笠中学校

30周年

衣中は昭和53年に開校し、平成20年5月に創立30周年を迎えました。

池上中学校から分離独立した当初は校舎のみで、体育館は無く、玄関前での入学式でした。雨の日の体育は図書室で、一期生の卒業式に間に合うように体育館は出来上がりました。何もない状態でのスタートでしたが、皆新しい学校を作っていくという気迫に満ちていたそうです。

校章は衣笠の衣の字をかたどり、大空を自由にはばたく鳩、無限な広がり、深さといった人間形成の目指すところを表現しています。また、衣中は各行事にも力を入れています。体育祭では伝統のムカデ競走と大縄跳びがあり、応援合戦では縦のつながりを深め、学校全体が一つになります。合唱コンクールもクラスがまとまるために不可欠なもの。そして人生の節目である卒業式。感謝の気持ちはもちろんのこと、参列者を釘付けにする熱い思いに、涙する人も多い式です。



衣笠中学校PTA



校章

PTA行事のあすなろ祭も、生徒、保護者、先生そして地域のつながりを深める大切な行事です。このように、衣中は様々な絆を深める温かい学校なのです。

衣笠中学校PTA

小学校陸上記録大会

10月18日(土)、晴天の中、少し肌寒かったのですが、横須賀市内の全小学校の5、6年生の代表選手による横須賀市児童陸上記録大会が、不入斗の陸上競技場にて行われました。

スタンドには選手はじめ、各校の先生、保護者の方々で埋め尽くされていました。選手達も、この応援に負けないよう、日頃の練習の成果を十分に発揮して頑張っていました。

各種目3位までに入った選手は、各自の小学校の校長先生からメダルを渡されて、大変喜んでいました。皆さん本当にお疲れ様でした。



おめでとう

110周年

浦賀小学校

110周年 おめでとう
ニコニコ 笑顔の 浦賀っ子



11月15日(土)
に110周年記念式典・祝賀会が、
行われました。

午前中は土曜参観として各学年様々な特別授業を行い、たくさんの保護者の方々にご来校いただきました。

午後の式典は、地元芝生町内会の祭り太鼓が始まりました。講師の山本詔一さんからは、浦賀小学校にまつわる昔話ををしていただきました。児童の出し物は、「崖の上のポニヨ」・「世界が一つになるまで」の合唱と合奏で、とても元気があり感動いたしました。浦賀ウインドオーケストラの演奏では、子どもたちの知っている曲をたくさん演奏していただき、体育館に響く大合唱となる場面もありました。

児童下校後の祝賀会では、軽食をとりながら、教職員・PTA役員・地域の方々と共に祝いできたことに感謝いたします。また、110周年に向けていろいろ準備をしていただいた関係者の皆様に、お礼と感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

浦賀小学校PTA

中学校駅伝競走大会

10月25日(土)、やや強い風の吹く中、横須賀市中学校駅伝競走大会が開催されました。

昨年までの観音崎コースから馬堀海岸フェニックス通りへとコースが変わり、市内25校が県大会出場をかけ、各校の誇りをたすきとユニフォームに込めて、力一杯走りました。沿

道は「のぼり」を持って応援する仲間や家族で盛り上がり、熱気に満ちていました。ゴールでの喜びや涙は、一生の思い出となることでしょう。選手の皆さん、指導してくださった先生方、お疲れ様でした！

男子優勝:池上中
準優勝:久里浜中
3位:神明中

女子優勝:大津中
準優勝:常葉中
3位:鴨居中



小学校 中学校 PTA情報交換会

昨年12月4日に中学校情報交換会を、そして12月13日には小学校情報交換会を開催いたしました。当日は多くの皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございました。

本年度は、事前に各学校にアンケートをお願いし、小・中学校共に「携帯電話・インターネットに関する知識と対応」というテーマで行いました。県、市の行政の代表の方、さらに市内の警察署より代表の方にもご出席を賜り、NPO法人i@スクールの方には、講演を行っていただきました。その結果、多くの皆様に現在の状況を、少しでもご理解をいただけたと思います。終了後も「参加して良かったです」とのお言葉も多くいただきました。

また、こども安全推進委員の皆様には、多大なるご尽力をいただきましたことを改めて深く感謝いたします。

今回の情報交換会を機に、各学校でもさらに深く取り組んでいただければ幸いです。

これからも、こども安全推進委員会の活動に、ご理解とご協力の程、宜しくお願ひいたします。

こども安全推進委員会 委員長 吉田 淳



左：吉田委員長（不入斗中）
右：赤羽根副委員長（大塚台小）

小学校情報交換会



昨年、12月13日土曜日、市立横須賀総合高校にて、平成20年度小学校PTA情報交換会が開催されました。市内の小学校・養護学校・ろう学校の校長、教頭、PTA会長、副会長等、多数の方々に参加していただきました。市P協佐野会長のあいさつ、こども安全推進委員会吉田委員長の開催趣旨説明においても、現在の子ども達をとりまく環境や人間関係は大変難しくなっている事を痛感する内容でした。

次に、教育委員会の方より現状報告があり、今の子どもと学校、先生、友人、携帯電話などの係わり方などの説明がありました。小学生の高学年（4、5、6年）の携帯電話の所持率は非常に高く、平均で46.6%で、中学生は、78%だそうです。子どもの万引きなどの犯罪は、全体的に減ってきてているようですが、低年齢化しているという話もありました。携帯電話の犯罪においては、大人の犯罪だけではなく、子ども同士のトラブルも多数発生してきているようです。

講演は、NPO法人i@スクール 教育情報化支援室の永島氏より、映像を使っての報告がありました。インターネットの良い点とは、『伝達が速い、伝達範囲が広い、誰でも参加できる、情報量が多い』などですが、反面相手のことが何もわからないので、色々なトラブルに遭ってしまうそうです。携帯電話でのトラブルが一番多いのは中学生とのことでした。部活などで学校間の交流があり、交友範囲も広域のためのようです。

後半は、3分科会に分かれて意見交換をしました。学校の対応としては、学校には持ち込まない（但し条件付きで持ち込み可）、としているようです。全体の話のまとめとしては、ブログ、プロフなどをしている子どもも多数いて、誰でも被害者・加害者になる可能性があるので、気をつける必要がある、また保護者としては、ルール・マナーを子ども達にしっかりと学ばせていく事が大切である、ということでした。



中学校情報交換会

平成20年度中学校PTA情報交換会は、昨年12月4日、ヴエルクよこすかにて開催されました。

まず初めに、市P協佐野会長より、開会のあいさつがありました。次に、こども安全推進委員会吉田委員長より、開催趣旨説明があり、保護者として現状を把握して、ひとつでも多くの情報を得て帰って欲しいとのあいさつがありました。



警察署からは、横須賀署、田浦署、浦賀署の生活安全課の方、行政からは市企画調整部と教育委員会の方、そして各学警連会長である校長先生方、NPO法人i@スクールの方を来賓にお迎えし、携帯・インターネットの現状や中学生の現状等をお話しいただきました。

中学生の携帯電話の所有率は78%。最近では、出会い系サイトの書き込みから、被害に遭う子どももいるとのことでした。知識はあるが使い方が判らないのが子どもで、知識はないが何が起こるのかが判るのが大人。今後ネット社会が無くなることはないため、子どもをトラブルから守るために、やはり大人たちが自分から知識を得ようとすることが必要であるということでした。そのため、教育委員会では、保護者向けにリーフレットを配ったり、サイトに対応策を載せているということでした。



また、子どものトラブルは、保護者からの連絡でわかることが多いので、家庭・学校が連携し、役割分担をしていくことが重要であることも述べられていました。



我々保護者としては、まだまだ知らない事がたくさんある中で、今回は色々な情報や知識を得る事ができたのですが、これからどう対応していけば良いのか、考えさせられる時間でした。



まちづくりミーティング



平成20年9月10日、横須賀三浦教育会館において、蒲谷亮一横須賀市長との「まちづくりミーティング」が開催されました。

「元気な横須賀」の実現に向けたまちづくりを考える、というテーマで、87名のPTA関係者が参加し、活発な意見交換が行われました。

学校関係においては「小学校への空調設備の設置について」「中学校の給食について」「放課後の児童受け入れ施設について」など質問がありました。他には、子育てに対する不安や、子育て環境の充実についても活発な意見交換が行われました。市長は、横須賀は保育園児の待機児童が少ないことや、一人当たりの公園面積が多い点などの良い点を挙げられたうえで、小児医療助成の改善や横須賀が良いと思ってもらえるような施策に取り組むことが大事だと考えているので、これからも頑張っていきたいと話されていました。

また、「横須賀の未来にとって大切なこと」「地域力について」「開発行為と緑地保全について」の質問には、横須賀のイメージをもっと良くしたいので、地域の人と一緒に取り組み、必要な支援をしていきたいとの考え方を述べられていました。

最後に「まちづくりのビジョン」については、景観に配慮をし、全国でも進んだ自慢できる取り組みをしているので、楽しみにしていて欲しいと締めくくられました。



人権講演会指導者研修会

「私たち一人ひとりができること」
多くの自殺は、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、うつ病や精神疾患など、その背景のさまざまな悩みにより心理的に「追込まれた末の死」であること。

私達が、周囲の人として出来ることは、「頑張れ」と励ますことではなく、淡々と聞くこと。社会のあり方として、大人が若者に命の大切さを伝えてほしいこと。何よりも、人が人を支える街づくり、人と人のつながりを大切にすることだと、湘南病院大滝紀宏先生は語りかけてくださいました。



シンボルマーク
かたばみ



平成20年9月25日
ウェルシティ

家庭教育講演会

11月26日(水)・生涯学習センターにおいて、(社)日本環境教育フォーラム理事・若林千賀子氏を講師に、「自然の中で子どもたちが学ぶこと」というテーマで開催されました。現代社会をとりまく諸問題、子どもたちをめぐる現実と課題の説明の後、人にとって自然を体験する重要性と、子どもの野外教育の成果、実際にどのような体験の場や活動があるのかも伺い、自然豊かな横須賀での子育てを考えていくきっかけとなりました。



平成20年11月26日
ウェルシティ



■H20年度広報委員会メンバーひとこと■

- ◆いつもお手伝いできずスミマセン。皆さんに感謝です。【夏島小 宇都】
- ◆広報の仕事は、久々に頭を使い勉強になりました。【逸見小 荒井】
- ◆P-ビー日々言ってた1年間。ひよこの今まで卒業です。【諏訪小 仲川】
- ◆え? 広報? 驚きの後に新たな楽しい体験ができました! 【諏訪小 石毛】
- ◆わかりやすくまとめて書くって大変! 頭フル回転でした。【大矢部中 中村】
- ◆『Yes We Can!』やった! 出来た! 感謝!!! 【馬堀中 三浦】
- ◆広報に携わり、有意義な時間を送る事ができました。【蒲賀小 塩月】
- ◆あっと言う間に終わりました。もう卒業です! 【神明中 山本】
- ◆この編集後記にまで目を通してくださった方に感謝です。【長井小 永松】
- ◆一番下の子が中3の今年市P体験できて運がよかったです! 【野比中 安永】
- ◆1年間お疲れ様でした。ありがとうございました。【顧問 馬堀中 矢口】
- ◆自分たちの活動が形に残るって嬉しいですね。【副委員長代理 鷹取小 浅井】

新春のつどい



大楠中・木下校長の開会の言葉に始まり、鷹取中・澤井校長の指揮による国歌斎唱、市P協・佐野会長あいさつ、蒲谷市長と渡邊県P協会会長のごあいさつと続き、久里浜中・松永校長の「やっと飲めます」という乾杯の音頭の元、全員で乾杯をした後、歓談の時間に入りました。



今回のアトラクションは、「スパイス&ハーブス」という、横須賀の地元小・中学校出身の方達で構成されたバンドで、Jazzの名曲「TAKE FIVE」「A列車で行こう」の他、「素顔のままで」「セブテンバー」など、とても素敵な演奏を聴かせてくださいました。突然のアンコールにも快く応えていただき、ミニライブは終了しました。

和気あいあいとした歓談が続く中、あっという間に2時間半が過ぎ去り、最後は光洋小・大久保校長のあいさつで、今年度の「新春のつどい」は閉会しました。市P協役員共々、参加された73校、計323名のPTA関係者の皆様にも、楽しいひとときをお過ごしいただけたことと思います。ありがとうございました。



編集後記

皆さん1年間本当に疲れ様でした。何もしない広報委員長でしたが、皆さんのおかげで、素晴らしい広報紙を発行することができました。本当にありがとうございました。広報委員長 大矢部小 三富

本紙への感想、市P協へのご意見・ご要望は、市P協事務局まで。

Tel: 824-1478 Fax: 824-1480

E-mail: yoko-ptaa@proof.ocn.ne.jp